

琉球古典音楽野村流保存会

第四十七回

定期公演

演

日時 令和5年10月22日(日)
午後2時 開演

場所 読谷村文化センター 鳳ホール

主催/琉球古典音楽野村流保存会

後援/沖縄タイムス社・琉球箏曲保存会

ホームページ：<https://nomura-hozonkai.okinawa>





あいさつ

琉球古典音楽野村流保存会

会長 宮城幸盛

琉球古典音楽野村流保存会第四十七回定期公演を開催するに当たり、ご挨拶を申し上げます。過去三年間の恒例行事は全てが変則的になり試行錯誤の連続でありました。

今年はコロナ・ウイルス感染症も終息に向かいつつあり、マスク着用の義務も撤廃され、個人の判断に委ねられ、一段落したことは過去と比較して安心の一言に尽きます。

昨年は止むを得ず舞踊の演目は中止を余儀なくされましたが、本公演から通常通りに出演をお願いすることにいたしました。

定期公演は全会員が参加する大きな行事であり、日ごろの成果を確かめ合う機会でもあると同時に、会員同士や支部間の交流を深める場でもあり、意思の疎通を図る最も重要な開催であり意義深いものです。

演目につきましては、師範、教師、一般会員の男女、それぞれによる古典音楽斉唱四演目をはじめ、古典音楽独唱では県内や本土も含めて十一支部からの代表により出演する五演目十一曲を選びました。舞踊は四演目に増やし南部、那覇、中部南、中部北、の各支部が担当することになっています。三線の地謡は五名乃至八名の構成になっており、出来るだけ多くの会員に経験を積ますように工夫を致しました。

思い出すのは、舞台は演じる側にも、又は観る側にも緊張感が高まり特別な雰囲気醸し出す場ですが、お互いに楽な気持ちで楽しんで頂きたいと願うばかりです。

当会は沖縄の伝統文化である琉球古典音楽の保存普及に務め、次代に引き継ぐ目的のほかに、組織の維持発展は「和を以て貴しと為す」との教えを堅持しております。今後に残された課題は新時代に適応する対応策も必要であります。

この度、情報化時代に乗り遅れないために「琉球古典音楽野村流保存会ホームページ」も開設いたしました。

URLはプログラムの表紙に掲載されていますので参考にして頂き、ご活用のご希望いたします。時節柄お忙しいところ、会場にお越し下さいました皆様に心からの感謝をこめて御礼申し上げます。

本日は定期公演の開催に際し、沢山の方々のご協力がありました。紙面をお借りして琉球箏曲保存会の皆様、出演して頂いた各流派会派の琉舞の皆様、光史流太鼓保存会の皆様にも心から感謝申し上げます。

なお、会場を提供して下さいました読谷村文化センター鳳ホール関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。ご挨拶と致します。

令和五年十月二十二日

演 目

アナウンス 金城 由美子

1 古典音楽斉唱……………4

本田名節・真福地のはいちゃう節・揚高祢久節

2 古典音楽斉唱……………5

かぎやで風節・恩納節・辺野喜節

3 古典音楽独唱……………6

伊野波節

4 古典音楽独唱……………7

千瀬節・子持節・散山節

5 舞 踊……………8

高平良萬歳

6 古典音楽独唱……………9

仲村渠節・赤田風節・本花風節

休憩

7 古典音楽斉唱……………10

稲まづん節・早作田節

8 古典音楽斉唱……………11

ぢゃんな節・大兼久節

9 舞 踊……………12

鳩間節

10 古典音楽独唱……………13

本調子仲風節・本調子述懐節

11 舞 踊……………14

花 風

12 古典音楽独唱……………15

二揚仲風節・二揚述懐節

13 舞 踊……………16

加那ヨ一天川

古典音楽斉唱（師範男性）

本田名節

真福地のはいちやう節

揚高祢久節

本田名節

すんねくりふねの

いきゆるとかいやれば

けふやいぢをがで

あちややくす

真福地のはいちやう節

まふくぢのはいちやうや

かれなものさらめ

いき廻りめぐり

もとにつきやさ

揚高祢久節

高祢久にのぼて

真南向てみれば

片帆船だめば

真帆どやゆる

【歌・三線】

新垣 浩	新垣 盛正	池原 力	池原 憲彦	伊佐 英吉	石川 清勝
稲嶺 盛律	伊良皆 功	上里 英輝	上原 伸浩	上原 良秀	宇栄原宗勝
上間 勲	宇根 良則	大城 幸盛	大城 聖	大底 秀吉	小渡 常雄
大湾 朝重	嘉数 正敬	鎌田 史	川崎 聡	川野 和好	喜瀬 学
金城 忠明	金城 勉	金城 久森	金城 正昭	金城 裕幸	金良 宗吉
桑江 常健	小谷 良輝	国吉 恭助	小浜 靖秀	島田 忠彦	城間 盛久
城間徳太郎	城間 廣	新里 清文	高那 真清	高良 俊治	棚原 宏
田港 朝弘	知念 孝昌	知念 恒雄	知念 誠浩	桃原 廣政	豊浜 修
渡久山英男	渡久山春憲	渡名喜庸功	友寄 雅仁	仲宗根玄雅	中尾 敬一
仲宗根盛榮	長浜 雅敏	長嶺 有哲	仲村 修博	仲村 春善	中村 昌成
仲村 善信	野原 新勇	野原 廣信	花城 康二	花城 盛三	比嘉 和夫
比嘉 文英	比嘉 正則	比嘉 義勝	平田 稔	福嶺 勝公	又吉 章
松田 和則	松田 幸弘	宮城 幸盛	宮城 康明	宮里 政直	屋宜 盛徳
山内 秀正	与那嶺正一	宮城 武則	宮城 秀樹	國吉 正康	仲村 一史
【箏】					
上地 尚子	赤嶺 和子	比嘉 玲子	平良マサエ	屋嘉比桂子	喜久村克子
比嘉 淳江	中村美智子				
【笛】					
中村 昌成					
【胡弓】					
高宮城実人					

古典音楽斉唱（一般会員）

かぎやで風節

恩納節

辺野喜節

かぎやで風節

今日のほこらしやや

何にぎやな譬る

荅でをる花の

露行逢たごと

恩納節

恩納松下に

禁止の牌の立ちゆす

恋忍ぶまでの

禁止やないさめ

辺野喜節

いじゅの木の花や

あんきよらさ咲きゆり

わみもいじゅやとて

真白咲かな

【歌・三線】

東里香代美	赤嶺 睦月	東 芙海	阿波根庸二	新垣 謙二	伊佐 盛信
伊仲 清忠	上江洲良尚	宇座萌々瀬	上地 志璃	上原 徹己	宇栄原えりか
上間 達貴	宇野 勝美	浦崎菜々子	小川 弓枝	大城喜久乃	大城 誠二
大城 結花	大城 律舞	織田実祐希	大城 正雄	翁長久美子	奥田 敏博
小畑 明加	我那覇匠子	兼次 民江	神谷 嘉辰	川手 教弘	嘉陽 崇
喜納 政勝	金城英一郎	金城 律子	金城 晴	具志堅理恵	具志堅吉紀
国吉真一郎	坂上 勉	坂上ひろみ	崎浜 初枝	赤嶺 徳男	佐久間奈津子
志村 正人	下地 百恵	城間 伶子	諸喜田佳奈	新屋 宏美	新屋 盛久
末吉 業和	嵩元 志穂	田島 乙乃	玉城 太	玉木 夢乃	多和田健男
知花 文弥	知念 賢治	津嘉山節子	出口 未來	當山 勝則	渡慶次由紀子
徳門 真子	友寄 武訓	長濱さくら	仲宗根 努	仲宗根旺人	仲西 康子
仲村 静子	西川 昌登	花城 宇	花城 恒子	花城 康文	日置 輝美
比嘉 愛梨	比嘉 彩花	比嘉 絹枝	比嘉 清美	比嘉茉莉美	比嘉 善光
平安 民雄	福井 紅葉	普久原民人	平敷 陽介	前田 瑞季	真志喜朝太
町田 宗徳	松原 章子	宮城 一男	宮城あかり	宮里 朝一	嶺井比呂志
村上 統	本村 佳恵	諸見里咲花	山内 千穂	山城 朋也	屋良 朝雄
與久田 弘	与那嶺直太	渡辺 初美	長田 朗	喜久川可憐	天野 幸
添石 好枝					
【箏】					
金城米利子	玉城 千恵	稻井 綾子	福嶺 栄子	山内 嶺子	山内 恵子
島田かおり	屋良 瑞樹				
【笛】					
松原 章子					
【胡弓】					
大城 めぐみ					
【太鼓】					
宮平 東亜					

伊野波節

【歌・三線】

小柳 果野子
棚原 美知
城間 竹美

【箏】

亀島 睦子

伊野波節

にゅはのいしこびれ

むぎうつれてのぼる

にゃへもいしこびれ

とさはあらな

干瀬節 (伊江支部)

子持節 (宮古島支部)

散山節 (八重山支部)

干瀬節

子持節

散山節

【歌・三線】

内間 響

【歌・三線】

倅山 貴之

【歌・三線】

高那 真清

【箏】

島袋 照子

【箏】

栗国 淳子

【箏】

瀬名波 恵子

里とめばのよで

いやで言ゆめおやど

冬の夜のよすが

互に語やべら

誰ようらめとて

泣きゆが浜千鳥

逢はぬつれなさや

わ身もともに

まことかや実か

わ肝ほればれと

寢覚め驚の

夢の心地

高平良萬歳

萬歳口説

親の仇を討たんてい 万歳姿に打ちやつれ 棒と杖とに太刀仕込で
 編笠深く顔隠ち 忍び忍びに立ち出て 村々里々越え来れば
 平良や忍ぶ敵の門 兄弟尻目に見過ごして うしろの道に巡り来て
 行末吉の御神に 祈る心は我が敵に 急ぎ引合せ賜りてい
 登て社壇に願立てて 真南に向いて眺むれば 四方の景色の面白や
 慶伊と慶良間の渡中には 海の釣舟浮きつれて 沖のかもめと見違うや
 それから下り下り来て「ゑる」御寺御門に立ち寄やい 休む姿や与所知らぬ

萬歳かうす節

萬歳かうすや 行脚いかうすや 二月お穂立て穂祭や 天より下りの何の日取や
 よい日取り 米や重さい石や軽さい 天より下りの布織り上手の綾織男の 錦の
 きんらん唐芋のきんらん 男の長者の荷馬の長者の 荷負いよわりて 行脚よわりて
 行脚行脚と馬乗て通れば 一段とほめられた 今日も明日も御祝事よ

うぶんしやり節

隣の耳切れ鼻切れごね引き猫が 目はげ首白鼠に 荒かぢ食はれて あびらじ
 をらばじとのがじ 思入や里一人だうやえ 里が物言いくらしやや 何にたてるが
 やえ ほだのぢやげなや

さいんそる節

京の小太郎が作たんばい 尻ほげ破れ手篋緒すげて 板片目貫ち乗り来たる
 みいははとしいつおんつおん やんざいこうすや 馬舞者 がいじ舞うた獅子舞うた
 かにあるもの おめかけため をかしやばかり

【踊り】

末吉 心優

【琉球舞踊】にぬふあぬ会

平良律司子琉舞練場

【歌・三線】

島袋 薫

仲栄真政作

安座間 清

【箏】

池原由美子

【笛】

知念 保修

【胡弓】

稲嶺 一夫

【太鼓】

宮里 和希

仲村渠節 (関東支部)

赤田風節 (関西支部)

本花風節 (九州支部)

仲村渠節

赤田風節

本花風節

【歌・三線】

日高桃子

【歌・三線】

中尾敬一

【歌・三線】

下田美輪子

【箏】

長田綾子

【箏】

田港あゆみ

【箏】

新崎每子

心あてみがけ

胸中の鏡

物のかげうつす

宝だいのもの

赤田門や

つまるとも

恋しみもの門や

つまてくいるな

みぐすくにのぼて

うち招くあをぎ

またもめぐりきて

むすぶごえん

古典音楽斉唱（師範女性）

稲まづん節

早作田節

稲まづん節

ことしもづくりや

あんきよらさよかて

くらにつみあまち

まづみしやべら

早作田節

銀白なかへ

黄金軸立てて

試しすりましゆる

雪のまま

【歌・三線】

赤嶺 ミヨ

宇栄原 好

岡崎 里栄

佐藤 和美

末吉 武子

浜本 隆子

松田エリカ

野澤 友恵

池原 ユキ

上間 正美

儀間 米子

下地 新子

平良由佳梨

比嘉 洋子

宮城 信子

花城多鶴子

糸数 春美

大城 優子

金城サチ子

島袋 節子

玉城智恵美

藤戸 絹代

山城 園代

山崎麻里緒

上江洲園子

小畑香代恵

金城夕ケ子

下田美輪子

津嘉山稔子

平安山佐和

與儀亜衣林

上原トミ子

大屋 春江

小西 睦子

新里ミエ子

中尾 雅子

前田 定子

与儀美津江

上原 宏子

大山 初枝

小谷 幸枝

新城 邦子

長嶺 竹美

又吉 里美

吉田 有紀

【箏】

上間千枝子

國吉 裕子

城間 良子

喜屋武初江

具志堅初美

松永 敬子

屋宜美智子

赤嶺スエ子

【笛】

澤岬かほる

【胡弓】

吉田 有紀

古典音楽斉唱（教師男女）

ぢゃんな節

大兼久節

ぢゃんな節

昔ごとやすが

なままでも肝に

忘ららぬものや

あれがなさけ

大兼久節

なごの大兼久

馬はらちいしやうしや

ふねはらちいしやうしや

わうらどまり

【歌・三線】

栗国ひろ子	安富祖江美子	新垣 保	新垣 優弥	新垣 順子
新垣 良和	新城 敬祥	池原 進徳	池原 義彦	伊佐 友孝
石井由美子	上江田健一	上地 康信	上地 吉光	上原 清美
上原 哲夫	宇栄原宗久	上間 史佳	宇保 隆	梅田 龍亮
大城 佐月	大田 守昭	親川 政信	悴山 貴之	漢那 宏美
岸本 奈弥	儀間由莉奈	喜友名朝教	具志堅郁子	工藤 祥彰
窪田めぐみ	桑江 常博	桑江 美都	米須 健	小柳果野子
呉屋 力	呉屋 伺咲	佐久川紀弘	瑞慶山三雄	下地 宏
佐藤 宏充	島袋 清正	島袋 隆志	新膳 裕治	平良 友香
棚原 美知	玉城 公丈	玉那覇 力	知念 正	知念 保修
都築華耶乃	當銘 由茂	當山 猛	渡嘉敷正光	内藤美奈子
中石 求	仲宗根盛助	仲宗根由莉	仲村 和子	仲村 芳善
長嶺みな子	花城 清生	玻名城 明	濱元 良喜	比嘉 彩乃
比嘉 正	比嘉 忠徳	比嘉 定義	比嘉 良助	平安 民雄
平敷 純子	外間 早苗	前田 玉江	又吉 哲也	松田 信造
宮里 誠浩	室井恒茲郎	諸見里朝伸	屋比久 勲	山城 良英
与那原 淳	島袋 文子	仲村みな子	喜久川幸代	

【箏】

山城真理子	中村ゆり子	新垣 勝美	譜久原美和子	喜友名美智子
野原ヒロ子	尾本美智子	比嘉美音子		

【笛】

石嶺 聖士

【胡弓】

伊良皆 功

鳩間節

鳩間節

- 一、鳩間中森 走り登り
くばの下に 走り登り
ハキヤヨーティバ カキダキ
ティトウユル テンヨー
マサティミグトウ
- 二、美しや萌りたる 森のくば
清らさ列りたる 頂のくば
- 三、稲穂積みつけ 面白や
粟穂積みつけ さて見事
- 四、前の渡よ みわたせば
往く舟来る舟 面白や

【踊り】

饒波 園代
野原 理恵
【琉球舞踊 輝和乃会 新垣和代琉舞道場】

【歌・三線】

新里 清文 豊川 英史 金城 正昭 知念 誠浩
知念 孝昌 石原 達也 真保栄清美 金城 晴

【箏】

伊波 彰子 上原ひかり

【笛】

比嘉 啓和

【胡弓】

新垣 恵

【太鼓】

宮平 東亜

【鳴り物】

宮里 和希

本調子仲風節 (那覇支部)
 本調子述懐節 (南部支部)

本調子仲風節

【歌・三線】

浦崎 直明

【箏】

岳原 美智子

かたりたや
 かたりたや
 月の山の端に
 かかるまでも

本調子述懐節

【歌・三線】

宮城 裕樹

【箏】

中村 千恵子

さらば立ちわから
 よそ目ないぬうち
 やがてあかつきの
 とりも鳴きゆら

花風

【踊り】

山田 玲子【琉球舞踊 無憂華玲子の会会主】

【歌・三線】

大城 聖 大城 弘幸 伊佐 英吉 名嘉 正光 安仁屋 勉

【箏】

金城 君江 平敷キミ子

【笛】

金城 裕幸

【胡弓】

山崎麻里緒

花風節

三重城にのぼて 手巾もちやげれば はやふねの習ひや ちゅめどみゆる

下出し述懐節

朝夕さもお側 拝みなれ染めの 里や旅しめて いきやす待ちちゅが

二揚仲風節 (中部北支部)

二揚述懷節 (北部支部)

二揚仲風節

【歌・三線】

長 浜 真 輝

【箏】

照 屋 貞 子

二揚述懷節

【歌・三線】

長 浜 雅 敏

【箏】

与 那 嶺 百 合 子

花の木陰に

住みなれて

いきやすなつかしやの

別て行きゆが

拝でなつかしや

まづせめてやすが

別かて面影の

たたばきやすが

加那よー天川

【踊り】

池原 雅江 伊波真理子 【琉球舞踊 燦の会 燦藤代乃会 藤戸絹代琉舞道場】

【歌・三線】

渡久山春憲 大底 秀吉 玉城 徳男 金城 裕幸 浦崎 直明

【箏】

真喜志美奈子 新城 美香

【笛】

仲田 治巳

【胡弓】

佐久本 純

【太鼓】

宮里 和希

【鳴り物】

宮平 東亜

加那よ一節

一 カナヨー 面影の立てばヨーカナヨー 宿に居られらぬ

ハルヨーンゾヨー カナヨーシーシ

できゃよ押し連れてヨーカナヨー 遊で忘ら

二 カナヨー 貫木屋のあしやげヨーカナヨー 手巾布立てて

我が思る里にヨーカナヨー なさけ呉らな

三 カナヨー なさけ呉るばかりヨーカナヨー 手巾呉て何しゅが

がまくくん締めるヨーカナヨー めんさ呉らな

ハルヨーンゾヨー イメーヌカジハリヨーフニ

四 カナヨー 遊で忘ららぬヨーカナヨー 踊て忘ららぬ

うみまさて行きゅさヨーカナヨー あれが情

ハルヨーンゾヨー ディアングアトウンケレ

天川節

天川の池や ヨーアヌンゾヨー チカユテイハナサナヤ

シタリヨーンゾ ハキヤイヤツサ

千尋も立ちゆら ヨーアヌンゾヨー チカユテイハナサナヤ

シタリヨーンゾ ハキヤイヤツサ

おれよりも深く ヨーアヌンゾヨー チカユテイハナサナヤ

シタリヨーンゾ ハキヤイヤツサ

思てたばうれ ヨーアヌンゾヨー チカユテイハナサナヤ

シタリヨーンゾ

ハキヤイヤツササイヤサヌサ

賛助出演

順不同

琉球箏曲保存会

光史流太鼓保存会

琉球舞踊 にぬふあぬ会 平良律司子琉舞練場

琉球舞踊 輝和の会 新垣和代琉舞道場

琉球舞踊 無憂華玲子の会 山田玲子琉舞道場

琉球舞踊 燦藤代の会 藤戸絹代琉舞道場

琉球古典音楽野村流保存会
令和5年度 第47回定期公演実行委員会組織図

